

こころの豊高図書館

みち 第222号

2012.7.17

制作者
3年図書委員

小山実紗
黒田華帆
田尻瑞生
泉和音
藤田龍蟠

今日の花

撫子(なでしこ)

秋の七草のひとつに数えられる
愛らしい花。日々女性の
理想とされる「大和撫子」は
かわうすデジコの控えめな
姿からとったものであろうか。

西洋ではヒメクシと

呼ばれている。



課題図書

フラダン 古内一裕著

女子ばかりのフラダンス愛好会に集められた4人の
男子高校生。その目的とは？
震災から5年後の福島を描く、涙と笑顔の青春ストーリー。



トロバリーウイフ 萩原浩著

「農業なんてカッコ悪い!」を叫んでいたけれど...
ついにわが国にイチゴ栽培と家族の再生を賭けて、
日本人の長男がイチゴづくりに挑む! その味は?



大が来る病院 大塚敦子著

日本で初めて小児病棟にセウビーズの訪問を受け
入れた聖路加国際病院。4人の子どもの
生死を通して描いた、感動の記録。



夏休みに向けて

テストも終わり、いよいよ
夏休みです。長期休暇は
生活リズムが崩れやすいので
休み明けにしんどくならない
ように、いつもの生活をす
ることを心がけましょう。読書感
想文の課題図書もそろえているので、
ぜひ図書館へ足を運んでみてください。



風鈴

七夕

七夕(別名:織姫祭、星祭)とは

五節句の1つ。牽牛星と織女星の伝説に基づいて、星まつり行事
(1月7日 3月3日 5月5日 7月7日 9月9日)
人日の節句、上巳の節句、端午の節句、七夕の節句、重陽の節句

起源

七夕が着物を織る神にちなむ神事。女性の技芸の上達を祈ったもの。
「織姫女」織姫織姫と祈っている。「七夕」と当の字と読みは2つ違う。
たなばたのめ 天の川

笹に短冊を吊るすのはなぜ?

笹は、根強く、繁殖力も強く、風雪寒暖にも強い。
葉の擦れ合う音は、神様を招く神聖なものとされている。
→ 願事も神聖な笹(竹)に吊るすようになった。

おすすめ図書

著 米澤穂信
水菓

「省エネ」少年の折本奉太郎は
姉の命で古典部に入る。
女子高生の申し子のような少年、
千反田える、そして奉太郎の友達
福部里起と伊原摩耶花の3人を含めた
4人で神の高校古典部がスタートする。
彼らの周囲で起る変化と
しに言迷を奉太郎が
解き明かしていく。

著 河野裕
汚れた赤を赤と呼ぶんだ

高校1年の七草は、人格の一部を消されて
これという、引き算の魔女を探している。
きっかけは2年がかりに再会した
真由美からのメール。魔女の
噂を聞いては七草と真由美の
関係が少しずつ変わっていく。
七草と真由美が魔女に消されていく
人格とは...?

裏面もあります。

日頃の積み重ね

わがやうに
でまがいたあ〜

六月十六日、後知事、普通選挙が
分離帯を越えて観光バスに衝突し
た事故。まだ記憶に新しいと思いきや、
これをニュースで観たとき、
「死者がかなり出たのではない」と思っ
ました。が、バス内では一人の死者も出な
かったのは、皆さんもホッとしたことと
思います。
後日、バスがイトさんが、
日頃がウレシイベルトの着用を口やかま
しく言っていたのが最悪の事態を防い
だと思っています。お客様に感謝です。
おっしゃっていました。
私は運転手とドライバーさんのプロ意識と
連携が大変な仕事をしたと思います。
日頃からの小さな善の積み重ねが大きな
事故を小さく、反対に悪気の多い大きな
悪も積み重ねると、とんでもない大きな悪
になりかねません。
日々の挨拶も社会に出たとき、
上司から同僚の手は挨拶もしつかりして感じ
がいい。「挨拶はコミュニケーションだから」とか
ひきつらしたらい意味で「目置かれ」
何かに繋がるかも知れません。

大きいことが小さくなった
小さいことが大きくなった



つながる読書

兼好法師は読書について、

「ひとり、灯のもとに文をひろげて、

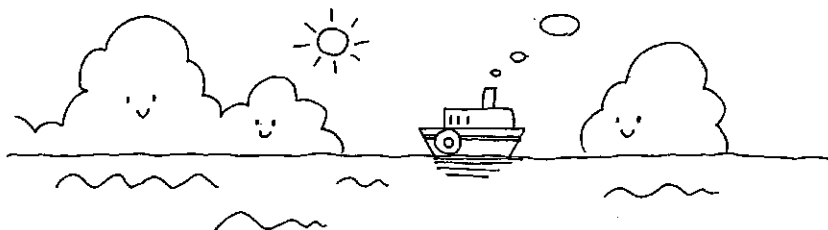
見ぬ世の人を友とするぞ、こよなく慰むるわざなる」

と徒然草の中で述べています。文字が唯一の情報伝達の記号であった昔は、見知らぬ遠い昔の人のみならず、遠く隔てた異国の人ともわが友として、じと通わせ知恵を獲得する術は、読書と描いて他になかったのです。確かに音声や映像は便利で効率がよいのかも知れませんが、時には読書を通して自分を確かめ、他人を知る、人と人の世に思い当たる、そんな経験をしてみませんか。

息抜きを大切に

東京大学 理科一類 菅村健也さん

僕は高一の頃遊びまくっていました。家に帰ればゲーム、休日は友達とカラオケ。(しかし、授業は聞いてましたし、テスト前は毎日勉強しました。高ニからは勉強に力を入れたが、友達と過ごす時間や豊高祭などを楽しめました。勉強だけが全てではありません。うまく切り替え、息抜きすることが大切です。たった3年しかない高校生活、勉強も大切ですが、たくさん遊んで友達と思い出を作ってください。(69期生)

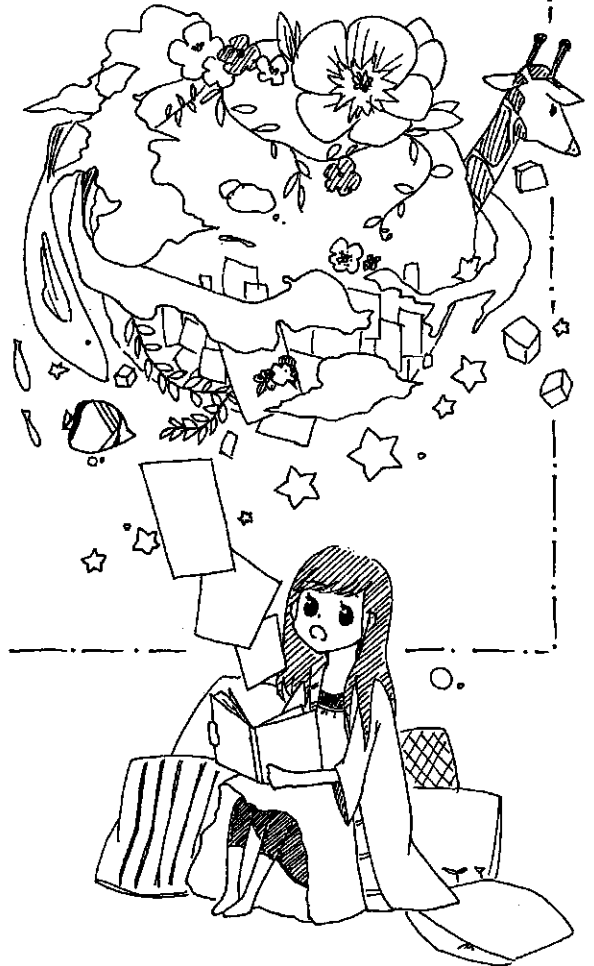


心の^{ひだ}襞の増やし方

うちの子どもは寝る前に、決まって「お父さん、本読んで〜」と絵本を持ちてきます。読んでいると、「うわあ〜」「悲しいかなあ〜」「たぶん〇〇がや、たんだ〜」などと思ったり想像力を働かせながら物語の世界に入っていきます。そして、読み終えると「ああ、楽しかった〜」と満足し、今度は夢の世界へと入っていきます。

「できるだけ客観的に」「できるだけ自分の気持ちを抑えて」「本文中の根拠は」と授業でロヤロヤまく言っている私は、そのように物語に入り込む子どもを見て思います。生徒の皆さんに「いろいろな想像をしない」「じんじん共感したり、腹立てたりしない」と言っていないかと。今日、ありがたいことにこのような機会をいただきました。皆さん、時には心ままに読書を楽しんでください。主人公の体験を追体験してハラハラしたり、思いもよらぬ考えに胸を打たれたり、いろいろな経験を通して心の^{ひだ}襞が増えていくのだと思います。そしてそれはあなた自身の「引き出し」となり、豊かな生き方へとつながるのでないでしょうか。

とはいえ、客観的な「読解」も同様に大切。両方のお手伝いができれば幸いです。



夏休み図書館閉館日

8月10日~15日

開館時間 8:00~15:30

(時間に変動することもあります)